

「朝鮮民主主義人民共和国による5度目の核実験に抗議する決議」を朝鮮民主主義人民共和国国務委員会委員長及び同国国連大使あてに送付しました。内容は、下記のとおりです。

朝鮮民主主義人民共和国（以下「共和国」という。）は、平成28年9月9日、核弾頭爆発実験を実施したと発表した。

前回の実験から一年も経たない中で、5度目の核実験を実施し、この間も弾道ミサイルの発射を幾度となく繰り返してきた。

共和国の行った行為は、国連安保理決議に明確に違反するだけでなく、核兵器廃絶に向けた国際社会への明らかな挑戦であり、世界で唯一の被爆国である我が国にとって断じて容認できない。

よって本市議会は、共和国がこれまで行ってきた核実験をはじめとした一連の行動に対し、強く抗議するとともに、共和国が北東アジア地域のみならず、国際社会の平和と安全を脅かす挑発的な行動を中止し、核実験と核兵器に関する計画を放棄するよう強く求めるものである。

右、決議する。

平成28年9月13日

日本国埼玉県川越市議会

「子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置の廃止を求める意見書」を衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、総務大臣、厚生労働大臣及び内閣府特命担当大臣（少子化対策担当）あてに送付しました。内容は、下記のとおりです。

我が国は、少子化による人口減少の流れと共にかつて経験したことの無い危機に直面している。若い世代の希望がかなえられ、安心して結婚、子育てのできる環境の整備に向け、子育て負担の思い切った軽減など、少子化対策の抜本的強化を図らなければならない状況にある。

一方、子どもの医療費助成は、疾病の早期診断と早期治療を促進し、子育て世帯の負担軽減を図ることを目的として、多くの市町村で、乳幼児医療費無料化等を含むさまざまな助成制度を実施しているが、厳しい財政状況の中での取り組みであり、結果として、助成対象年齢や自己負担額などに地域間格差が生じている実態にある。

さらに、地方自治体が行っている乳幼児等に対する医療費助成については、少子化対策に関する重要な施策にもかかわらず、国民健康保険の国庫負担金や調整交付金が減額調整されており、施策推進の大きなさまたげとなっている。

よって、国においては、少子化対策は喫緊の国家的な課題ととらえ、地方自治体が行う子ども医療費助成に係る国民健康保険の国庫負担減額調整措置を廃止するよう強く要望する。

右、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年9月30日

川越市議会

議場コンサート



9月2日議場コンサートを開催しました。

今回は、国際音楽療法専門学院の学生による「ディズニーメドレー」他3曲の演奏が行われました。

●お知らせ●

議員控室（本庁舎6階）の工事を順次実施しております。来庁の皆様には、ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解、ご協力をお願いいたします。

問い合わせ先

議会事務局 電話049-224-6062

今定例会の傍聴人数

平成28年度川越市議会第5回定例会

合計84名の方が傍聴されました。

開会日	… 6名	一般質問③	… 13名
議案質疑①	… 11名	一般質問④	… 13名
議案質疑②	… 4名	一般質問⑤	… 9名
一般質問①	… 18名	最終日	… 4名
一般質問②	… 6名		

次回もお待ちしております



発行 川越市議会
編集 川越市議会広報紙
編集委員会
電話 049122416067

(中原秀文)

末筆ながら、皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げ、編集後記とさせていただきます。

編集後記

秋の夜長、虫の音が心地良い季節となりました。9月定例会の議会だよりをお届けいたします。

この印刷物は、グリーン購入法に適合する紙を使用し、印刷用の紙へ、リサイクルできます。

リサイクル適性(A)